

小学校第6学年実践事例

1 単元名 私たちの生活と日本国憲法（大単元：みんなの願いをかなえるために）

2 単元の目標

- 地域の災害復旧への取り組みは、国民生活の安定と向上を図ろうとする地方公共団体や国の政治の働きによるものであることを理解するとともに、政治の働きに関心をもつ。
- 地域の災害復旧の様子や税金の使われ方、議会や選挙の仕組みなどの政治の働きを調べ、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考えたり、日本国憲法の理念と関連付けて考えたりしたことを適切に表現する。

3 単元の評価規準

【社会的事象への関心・意欲・態度】

地域の災害復旧への取り組みや議会の役割、税金の働きに関心をもち、政治の仕組みや選挙の在り方を進んで調べようとしている。

【社会的な思考・判断・表現】

地方公共団体や国の政治の働きや地域の災害復旧の取り組みについて、地方公共団体が市民の願いを取り入れながら国と協力していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考え、適切に表現している。

【観察・資料活用の技能】

地方公共団体や国の政治の働きや地域の災害復旧の取り組みについて、各種資料を活用して必要な情報を集め、政治の働きによって国民生活の安定と向上が図られていることを読み取る。

【社会的事象についての知識・理解】

地方公共団体と国の政治の基本的な考え方や仕組み、災害復旧や防災のために地方公共団体がそれぞれの地域の実態に応じて市民の願いを取り入れながら、国と協力して望ましい施策を実現していることを理解している。

4 大単元「みんなの願いをかなえるために」（総時数20時間）の計画

【私たちの生活と日本国憲法】

8時間

- 1) 日本国憲法の前文を読み解き、その理念の大切さについて考える。・・・ [2時間]
- 2) 市の政策と日本国憲法とのつながりについて調べ、話し合う。・・・ [2時間]
- 3) 日本国憲法について自分なりのテーマをもって調べ、話し合う。・・・ [3時間]
- 4) 平和な社会の在り方について考え、話し合う。・・・ [1時間]

【災害復旧をめざす政治】

12時間

- 1) 東日本大震災時の経験や福島市の被害状況の様子について話し合う。・・・ [1時間]
- 2) 災害復旧にかかる税金の大切さについて考える。・・・ [2時間]
- 3) 災害復旧時や災害を防ぐための市や県、国等の取り組みを調べ、これらに携わる人々の努力について話し合う。・・・ [3時間]
- 4) 国会、内閣、裁判所の働きを調べ、考えたことを話し合う。・・・ [3時間]
- 5) 国会や市議会における選挙の大切さを考え、話し合う。・・・ [1時間] 本時
- 6) 学んだことを振り返り、市の子ども議会への提案文を書く。・・・ [2時間]

5 大単元「みんなの願いをかなえるために」の主張点

本大単元は、「私たちの生活と日本国憲法」の単元から学習を始めることで、前大単元で学んだ歴史分野とのつながりを生かしながら学ぶことができると考える。まず最初に、歴史分野で学んだ大日本帝国憲法と日本国憲法との違いを比較しながら、日本国憲法の前文を読み解いていく学習を行うことで、日本国憲法の理念の大枠やその大切さに気付かせていく。次に、実際の市の政策と日本国憲法の理念とのつながりを考えさせながら学ぶことを通して、「基本的人権の尊重」「国民主権」「平和主義」という三大原則の大切さに気付かせていくとともに、次単元での子どもたちの学びの根拠となり、日本国憲法の三大原則を実際の政治の働きと関連付けて考える姿につながるようにしていきたい。

